

令和6年度

第5回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和6年6月3日(月)
開会13時35分 閉会13時45分

場 所 教育委員室

令和6年度
第5回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 報 告

令和6年度大分県立爽風館高等学校秋季募集人員について

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	山 田 雅 文
	委 員（教育長職務代理者）	岩 崎 哲 朗
	委 員	高 橋 幹 雄
	委 員	鈴 木 恵 弘
	委 員	岡 田 豊 弘
事務局	教育次長	大 和 孝 司
	教育次長	山 田 誠 司
	教育次長	武 野 太 正
	高校教育課長	小 野 和 正
	教育改革・企画課 総務企画監	角 淵 達 彦
	教育改革・企画課 課長補佐（総括）	新 貝 隆
	教育改革・企画課 主査	久 知 良 周 平
	教育改革・企画課 主査	穴 見 ひ と み

2 傍聴人

2 名

開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、岩武委員が欠席です。

ただ今から令和6年度第5回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、岡田委員にお願いします。

会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。

会議の終了は13時45分を予定していますので、よろしくお願いします。

(山田教育長)

議事に入ります前に、6月14日(金)で教員採用選考試験等に係る贈収賄事件から16年を迎えますので、私から一言申し上げます。

平成20年6月14日の事件発覚以来、教育委員会をはじめ教育関係者の皆さんと共に、一貫して教育改革に努め、様々な制度の見直しを行って参りました。特に教育採用選考試験につきましては、常に公平・公正・透明性を第一に考えた試験を実施する姿勢を変わることなく継承しています。

過去の事件を決して忘れることなく、他方で未来志向のもと、時代の変化やその時々課題に対応し、要請に応えるために必要な改革に積極果敢に取り組み、その歩みを止めないことが、我々に課せられた使命であると考えています。

県民に信頼され、県民の期待に応えられる教育を実現するためには、地域に開かれた学校づくりはもとより、教師一人一人がしっかりと子どもたちと向き合える環境整備が不可欠です。学校における働き方改革を加速させ、また、学校がチーム一丸となって組織的に教育活動を行う、芯の通った学校組織を実践することにより、全国に誇れる教育水準の達成を目指します。

本県の全ての子どもたちが変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を身に着け、自己実現が図れるように、常に子どもを中心に据えて市町村教育委員会や学校現場の教職員と緊密に連携しながら、県教育委員会をあげて教育県大分の創造に努めてまいります。

議 事

【報 告】

令和6年度大分県立爽風館高等学校秋季募集人員について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(山田教育長)

それでは、報告第1号「令和6年度大分県立爽風館高等学校秋季募集人員について」高校教育課長から説明をしてください。

(小野高校教育課長)

資料1ページです。令和6年度大分県立爽風館高等学校秋季募集人員について説明いたします。

秋季募集の人員は入学定員から春季入学者数を除いた数となります。したがって、表に記載しておりますように、定時制課程(3部制課程)は 部・普通科が入学定員80名から春季入学者数を引いて42名、 部・普通科が31名、 部・普通科が37名、同じく 部・商業科が40名となり、合計150名を募集いたします。

下には参考として、秋季募集に係る概要を記載しています。なお、この日程等は、昨年度10月に公表しました実施要項で既に発表済みです。

次に通信制課程について説明します。3の表に記載しておりますように、秋季募集人員は、入学定員400名から春季入学者数132名を除いた268名となります。定時制と同様に、下には秋季募集に係る概要を記載しています。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

春季募集と秋季募集の割合は、現在同じくらいですか。

(小野高校教育課長)

募集自体は春季の方が多いのですが、志願者数は近年、秋季募集は多くない状況です。定時制が1桁、通信制は20名弱です。令和5年度の実績は、定時制が0、通信制は15名となっています。

(高橋委員)

秋季に入学する人も増えていけばよいと思ったのですが、日本の文化的なもの

もあるのでしょうか。ありがとうございました。

(岡田委員)

通信制課程で、春と秋で募集の比率が異なっていますが、秋のほうが多いのはなぜですか。

(小野高校教育課長)

通信制については、入学定員が400名ですので、春季募集でまず400名を募集します。志願した生徒、入学者数が132名でしたので、秋季募集はこれを差し引いた数となります。

(鈴木委員)

基本的な質問かもしれませんが、春季募集で入学定員が決まる時、教職員数はこれに対応するだけ配属されているのですか。

(小野高校教育課長)

はい。入学定員の発表が9月頃ですので、その後、定員に見合った教員を配置しています。

(鈴木委員)

先生たちはいるけれど、生徒が入ってこない場合に少しもったいないと思います。実際には、生徒の課題等、様々なことに先生が関わるが多いため、現場としては教員数が足りていないかもしれませんが、十分な教育が施すことができると考えてよいのでしょうか。

(小野高校教育課長)

はい。おっしゃるとおりです。

定時制では、ラボ制といって、少人数の生徒に担任がついて、きめ細かい指導をする形になっています。

(山田教育長)

他にありませんか。

(山田教育長)

最後にその他、何かありますか。

それでは、これで令和6年度第5回教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。